



祝敬老会

ご長寿とご健康を心より

お祝い申し上げます



里だより

No.405

令和7年10月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



十月号もくじ	(ページ)
施設長より	1
業務部より	3
主任より	4
職員より・調理場より	5
サービス向上委員会より・ 研修報告	6
行事報告	7
行事予定・ ありがとうございました・ 編集後記	10



施設長より

目標と過程



九月下旬、熊本城マラソンの締め切りだったようです。前は、当施設からスタッフが六名ほどエントリーしました。割合にすると一割程度で、マラソン人気は高いようです。今年も締め切り直前に何やら色めきだっていました。出場する目的は人それぞれ。記念に走る人。毎年の定例イベントとする人。完走を目標とする人。完走が当たり前になるとタイムの短縮を目指す人等々です。

第三者から見ると『マラソン大会出場者』としか見えていないものも、出場者各々の目標があります。目標達成には、達成するための過程を実行する必要があります。記念に走る人は、申し込むところから。完走するには体力づくり。タイム短縮にはより一層の負荷をかける練習や走り方の改善…と、こんな感じでしようか。いつもと同じ練習をダラダラしても、今の状態を維持するだけで、ある程度負荷をかけなければ体力は付きませんし、タイムも良くなりません（ただ、練習を続け現状を維持している人は凄いです）。

利用者さんに置き換えてみると、傍から見れば『つくしの里を利用してゐる方』としか見えていないでしょう。しかし、利用者さんも上は九十一歳から下は二十歳。障がいの内容も様々。当然、悩みも様々です。つまり、ご本人さんの目標・ニーズもその数だけあります。サポートするスタッフは、その目標を知らなければなりませんし、達成するための方法を支援の知識・

技術として習得する必要があります。担当者なら尚更です。誕生日すら知らなければ、利用者さんを知ろうとする姿勢にさえ、陰りが見えます。

福祉従事者からすれば当然のことを記載していますが、この姿勢が崩れると生活支援が作業になってしまいます。利用者さんの想いを知ることとは別に、ご家族の想いも発生します。こちらの把握も必要ですが、利用者さんの想いと必ず一致するものではないことを、利用者さんを含めた関係者が把握しておかなければなりません。ご家族としては、施設で安心して安全に暮らしてほしい。利用してほしいと『本人のことを想って』『本人のためだから』と願っても、利用者さんの想いと乖離している可能性もあるということになります。障害者総合支援法においては、障害者が「どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保」されているため、意思決定支援は指定事業者や指定相談支援事業者においては重要な取り組みとして位置付けてあります。日常生活や社会生活における場面などがありますが、生活の場所をグループホームに変えたといった場合には、その意思を尊重して進めることになります。

話を目標に戻すと、例えばグループホームで生活をするとして、それを達成するために何が必要かの過程が見えてきます。偏にグループホームと言っても、場所や空き状況、施設のつくり、スタッフ配置など様々です。また、グループホームを拠点に何をしたいのかなども課題として出てきます。そこで生活するために、利用者さんご本人が身につけ獲得するもの、支援者が必要となる具体的な支援方法を確立するなど、やることはたくさんです。

目標やニーズは、利用者さんが目標を持てるための環境設定が大事なところですよ。この環境は、利用者さんが関わる人、場所・時間でも影響を受けます。利用者さんの意思を形づくる適切な情報や認識しやすい工夫も必要です。「どこか行きたいところはある？」と尋ねても、場所を知らなかったり、行ったことがないところを答えるのは困難です。いくつかの情報を提供して選択できる機会を設けなければなりません。

次に、想いを伝える際には、話しやすい環境を用意しなければなりませんし、利用者さんにとって支援者が安心できる人でないと本音を聞き出せません。「この人（利用者さん）には無理だろう」と支援者が決めつけてしまうのは、典型的なパターンリズムとなってしまうんです。後は実行です。利用者さんの意思が日常生活・社会生活に反映できるように、体験も通して取り組みます。人の想いは変わるので、見直しも必要になりますが、その体験が次のステップにつながればいいなと思います。

利用者さんの『人生の主役となるべく人は誰なのか』を常に意識したいと思います。

日常生活に反映と言えば、当施設では各種イベント、給食会議などに利用者さんが参加され、画像を用いて説明し、選択の機会を多く設けています。どきやん会（利用者自治会）は、大きな二つのグループでそれぞれ行っていました。利用者さんの特性上、各班に分かれた方がより細やかに意見を拾い上げられるということで、変えました。今月末の『秋の里まつり』にも利用者さんの意見が反映されているようです。利用者さんの想いが満たされますように。

今年も秋の里まつりを開催いたします。コロナウイルスや県下でも既に感染が確認されているインフルエンザなどの心配はありますが、皆様をお迎えし、楽しい一日にしたいと考えております。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

施設長 松永一博

御礼申し上げます



保護者会よりテントを寄贈していただきました。

従来のテントより組み立ても簡単になり、重量も軽く、少ない人数でも組み立てや移動が可能になりました！

これから、秋の里まつりをはじめとした行事等、色々な場面で活躍していくと思います。本当にありがとうございました。

業務部より

半期を振り返って



九月半ばを過ぎても真夏のような暑さが続き、雨が降れば災害級の雨量で、気候変動の影響を実感しています。この先の台風シーズンも心配です。いざという時のために、日頃から備えておくことが重要ですね。

さて、令和七年度も上半期が終わります。今年度の重点課題の中で、特に力を入れている項目は、虐待防止と事故防止です。虐待防止では、毎月の職員のセルフチェックと係長以上による支援現場の巡回に取り組んでいます。

職員のセルフチェックについては、権利擁護委員会が集計して結果を公表し、情報共有すると共に、対応策を検討しています。

支援現場の巡視は、原則として一日一回はいずれかの班を確認することとしていますが、相談員と事務長は週一回いずれかの班となっているので、私も毎週巡回しています。「いずれかの班」ですが、せっかくなので、できるだけ全部の班を回ります。ただ、いかにも「見に来ました」という態度も変だし、日常の場面が見たいし、外から窓越しに見たり、活動室の中に入った、私なりに考えています。

巡視すると、支援の様子だけではなく、伸び放題の雑草や窓から投げたと思われる活動道具や片方だけの靴下、片づけるの

を忘れられた物品、エアコン室外機の異常音等の発見があります。他にも、初咲きの紫陽花や日陰に駆け込むトカゲといった季節ごとの気づきもあります。事務室に座っての仕事ばかりではわからないことです。

次に事故防止では、特に同一事故の減少を目指しています。お恥ずかしい話ですが、四月以降、誤薬が複数回あり、服薬手順を見直し、責任の所在を明確にしました。新しい服薬の手順を職員に周知した後、夕食時の服薬状況の確認に行きました。

何日か続けて行くと、利用者さんの夕食の様子がわかるようになり、食札や空の食器を片付ける等、できる範囲で関わりました。時には、食事介助中の職員に代わってお茶を注ぐこともありました。利用者さんによっては「○○さん（支援員）がいい」とお断りされ、笑ってしまいました。

上半期は同一事故の減少に至っていないばかりか、事故件数も昨年同時期と比べると増加傾向にあります。利用者さんの状態変化に対して、職員の対応が追いついていない、決まったことがなされていない等、要因を検証し、下半期はより一層、事故防止対策を強化していかなければなりません。

時間はあっという間に過ぎてしまいます。下半期はスピード感を意識して、やるべきことを進めていきます。

事務長 光永明日美

主任より

半期の振り返り



令和七年度がスタートし、早くも半年が過ぎ十月を迎えました。個人的な話をする、四月から班が異動し新しい環境でスタートした今年度。あつという間に過ぎた日々でした。

班の異動と新しい業務で覚える事も多く、四月に入る前から本当に大丈夫なのか？と不安な日々を送っていたのを思い出します。慌ただしい毎日を過ごしていますが、先輩職員からの指導や後輩のフォローもあり、半年やってきたんだなという率直な気持ちです。今の自分がどれぐらいできるようになったのか。足りない事は何なのか。一つひとつを振り返りながら日々を過ごしています。

班を異動して感じた事ですが、これまでも会議や議事録等を通し他班の利用者さんの状態や申し送り、支援内容は把握してきましたが、実際にその班に所属し体感してみないとわからない事も多くあるという点です。特に施設全体で高齢化が進んでいます。実際に支援に携わってみないとその程度や状態は掴み切れない事もありました。文章に記載してある内容と実際に支援を行った感覚では差が出てくる事もあると思いますし、利用者さんのルーティンや環境面での工夫等、その班に所属し知る事も多くありました。利用者さんの事もそうですが、班の日課や流れ。細かい事を言うと日誌を記載している時間や準備物等も。色んな班の事を体感するのは大切な事ですし、利用者さんや今の現場を知る事にも繋がります。今回の異動は、自分に

とって、とてもプラスになっているんじゃないかなと感じています。

話は変わりますが、行事報告のページにも記載してありますが、五班の一泊旅行が無事に終わりました。四月に利用者さんからの意見を聞き、最近の利用者さんの状態を考慮した上で、今年度は二グループに分けた一泊旅行を計画。八月に温泉と食事をメインとした佐賀県の嬉野市、九月にはスポーツ観戦をメインとした福岡県福岡市に行きました。日頃の様子とはまた違う利用者さんの一面も見られた旅行となりました。

四月に意見を募る場を設けましたが、「ハーモニランドに行きたい」「新幹線に乗りたい」「熊本市内がいい」等の意見や、旅行後には「次はハウステンボスに行きたい」「巨人の試合も見たい」との言葉も。今回は叶わなかった声もありますが、職員からの見立てだけではなく個々の意思を尊重し利用者さんにとって満足していただける方法や選択を考えていきたいと思っています。



主任支援員 小嶋 健仁

職員より



里だよりの 2 月号で「美容系の勉強をしています」とご報告させていただきましたが、今回はその続きを書かせていただきます。

美容系の勉強と言うのは、ネイルの勉強です。昨年 4 月から約 1 年半、学校に通いネイルについて学んできました。今月、最後の試験があります。今までの試験より何倍も難しい試験なので日々練習です。試験時間も 120 分と長く、集中力が乏しい私にとっては、なかなかの地獄です。でも一発で合格はしたいので、気合でどうにか乗りきろうと思います！！

1 年半通った学校がようやく終わろうとしー安心する気持ちと、これから習得した技術をどう生かしていこうかと楽しみでワクワクする気持ちでいっぱいです。5 班の利用者さんに自分が勉強していることを話すと興味を示してくれた方が数名いらっしゃって、とても嬉しい気持ちになりました。色を塗ってほしい、マッサージをしてほしい、爪のケアをしてほしいなどそれぞれ要望は違うので、個々の要望や特性に応じた対応が出来ればなと思っています。「美」を保つお手伝いをこれからしていきたいです。



(支援員 田中)

つくしの里に働き始めて 2 年目となります。これまでの経験を活かし、利用者さん一人ひとりの尊厳を尊重し、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。引き続き、専門知識や技術を磨きながら、利用者さんの自立支援や生活の質向上に貢献できるよう、誠実に取り組んでいきたいと考えています。利用者さんやご家族の皆様との信頼関係を深め、温かみのある支援ができる職員を目指していきます。

まだまだ未熟な面ばかりですが、レクリエーション企画やスタッフ間の連携。キャリアアップのためのスキル習得など先輩職員に少しでも追いついて成長出来るよう頑張っていきたいと思います。

(支援員 牛島)

調理場より



秋らしく朝晩が涼しくなってきました。私の秋の楽しみは「梨」です。ご家族より 8 月、9 月に梨をいただき、利用者さんも旬を味わい、暑さをしのぐことができました。今年も暑さが厳しくいつもより冷奴、そうめん、冷や汁等、冷たいメニューを多く取り入れました。また、梨だけでなく給食ではなかなか仕入れが難しい晩柑やいちじく、熊本の特産物のナス、メロン、スイカ、キュウリ、サツマイモも毎年いただきます。給食会議では、毎月出席された利用者さんに「この時季食べたいもの」をお聞きします。8 月、9 月の給食会議では、秋の匂いか、地域性か「サツマイモ」と答えられる方が多くいらっしゃいました。つくしの里のサツマイモ料理は、味噌汁、ぜんざい、ポテトサラダ、ポタージュ、煮物等ありますが、人気のサツマイモは、久しぶりに「スイートポテト」を作りたいと思います。

(管理栄養士 奈須)

サービス向上委員会より



■ 環境【主任支援員 平田・支援員 松尾リ・高尾】

利用者さんが快適に過ごせるよう、寝具や衣類の管理、畳の入れ替え、備品の確認等を定期的実施し、施設内の衛生環境を保つため活動し、利用者さん一人ひとりがより良い生活を送るための環境作りを進めています。

今後も、委員会メンバー一同が協力し、快適に過ごせる環境づくりを引き続き取り組んでまいります。

研修報告

※ 8/21（木）～9/20（土）の実施分について報告いたします

◆障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修

【9月3日（水）～5日（金）国立オリンピック記念青少年総合センター】



各都道府県より施設従事者と行政が集まり、全体研修と双方に応じた研修内容でコース別に分け実施されました。本研修の最大の目的は、3日間で学んだ国研修を各都道府県に持ち帰り、研修を開催し伝達していく事となっており、責任重大な任務となっています。

導入時においては、現在の情勢や法令に関することが厚労省より示されました。本題に入ってから、グループワークによる演習で、意見を交わし、具体的に考えていきました。課せられた責任を果たしていくことは当然ですが、虐待につなげないための取り組みを発信していきたいと思います。ご利用者を囲む支援者が信頼される、期待される存在となるよう、人材の育成に努めたいと思います。（支援係長 今田）

施設 PR 委員会

今月の 1 枚！

ドキドキのトッピング♡

おいしくできるかな？

行事報告

※ 8/21（木）～9/20（土）の実施分について報告いたします

★生活介護⑤班一泊旅行 A【8月27日（水）・28日（木）佐賀県嬉野市】

旅行の行きがけにゲリラ豪雨に遭遇することもありましたが、無事に宿へ到着する事ができました。旅館の方も温かく受け入れて頂き、部屋から見える景色や露天風呂にとっても癒されました。夕食には、お茶の産地でもある嬉野市のお茶をお出汁に使ったしゃぶしゃぶをいただきました。しゃぶしゃぶに慣れていない利用者さんも職員と一緒に肉をしゃぶしゃぶし、普段できない体験ができました。

車椅子の利用者さんが増える中で、少しの段差や坂道で利用者さんに負担がかかってしまうと感じる場面が多かったです。利用者さんも職員も互いにストレスなく旅行が出来るために、バリアフリーの設備の必要性をより感じます。上手くいかなかった点に関しては来年度に生かしていけるようにしていきたいです。今回の旅行では、体調を崩すことなく帰園する事ができ、普段作業で疲れた体をリフレッシュする事ができました。

（支援員 瀬形）



★生活介護⑤班一泊旅行 B【9月2日（火）・3日（水）福岡県福岡市】

野球観戦のためみずほ PayPay ドームに出かけました。広々とした球場の雰囲気にも包まれながら、大勢の歓声や応援の熱気を利用者さんと感じながら楽しく過ごすことができました。試合では利用者さんが好きなソフトバンクが勝利したことで盛り上がりはもちろんのこと、声を合わせて応援する時間は良い思い出になりました。観戦後にはヒルトンシーホークに宿泊し、窓から広がる夜景を眺めながらゆったりとした時間を過ごすことができました。朝食のバイキングも大変美味しく、福岡での楽しい時間を一層引き立ててくれました。利用者さんと職員全員がケガや体調不良になることなく、笑顔で帰路につけたことが何よりの収穫だったと思います。今年のうまくいかなかった点は来年に活かし、安心して楽しめるような旅行にしたいと思います。

（支援員 伊藤）



★生活介護班①班外出【9月11日（木）アンジェールハウス】

アンジェールハウスは、木々に囲まれたとても雰囲気が良い結婚式場です。石畳を歩き式場の中に入り、スタッフの方が出迎えて下さりました。いつもと違う状況に皆さん少し緊張気味でした。席に着くとテーブルにはフォークとナイフが並び、綺麗な皿には、美味しそうな料理が盛りつけてありました。料理が運ばれてくるたび笑顔になり、パクパクと一瞬で料理がなくなってしまうほどの美味しさでした。フリードリンクだったので、何杯もお代わりされ満足そうでした。いつもと違う外食で、皆さんに喜んでもらえて良かったです。

（支援員 山田）



★敬老会【9月12日（金）つくしの里】

施設内でコロナが流行してしまい、開催が危ぶまれましたが無事にお祝いする事が出来て安心しました。

今年度は敬老者紹介をクイズ形式で行いました。例えば「私はだーれ？つくしの里工務店の社長です」「私はだーれ？赤いスイートピーが好きです」など、私が思う利用者さんの印象をクイズにしてみました。簡単に答えられる方もいれば、なかなか正解がでない利用者さんもおられました。皆さん楽しんで参加されました。また、傘寿、喜寿、還暦の節目の利用者さんには絵が得意な職員に似顔絵を描いてもらいました。「似てる！」と嬉しそうに受け取られました。

昼食は、赤飯、天ぷら、お吸い物、煮物、ロールケーキと豪華なお食事で、利用者さん皆で乾杯して美味しくいただきました。

たくさん食べて、たくさん怒って、たくさん笑って…。元気いっぱいの敬老者の皆さんから、いつも元気をいただいています。少しずつ恩返しをしながらこれからも元気いっぱい過ごしていただきたいです。

（支援員 村上マ）



★生活介護班②班外出【9月16日（火）はなみずき】

植木のはなみずきでバーベキューを行いました。まだ気温が高く、バーベキューの火の前になると汗ばむ温度で、お肉を焼く職員も汗びっしょりとなりました。利用者さんも久しぶりのバーベキューに興味津々で、夢中になってお肉を食べられていました。お腹が満たされた後は、近くの芝生で散歩したり、利用者さん一人ひとりがゆっくりと過ごされました。今後も2班では、いつも経験できないことにチャレンジしていきたいと思います。

（支援員 尾崎か）



★生活介護班③班外出【9月18日（木）すたみな太郎インター店】

予定していた動植物園への外出が天候不良で中止となりましたが、代わりに昼食外出を行いました。

当日は、急遽行先を変更して「すたみな太郎熊本インター店」へ行きました。バイキング形式だった為、皆さんそれぞれ好きな料理を自由に選び、満足するまで堪能されました。普段はなかなか味わうことのできないメニューもあり、笑顔がたくさん見られ、とても楽しんでおられました。

それでも、予定していた動植物園に行けなかったことを残念に思う利用者さんもいらっしゃいました。改めて外出の機会を設け、皆さんに喜んでいただけるよう計画を立てていきたいと考えています。

（支援員 松尾り）



行事予定

☆ 大津町福祉まつり（大津町役場周辺）

期 日：10月19日（日）

内 容：今年もつくしの名物焼きそばの販売で出店します！



☆ 秋の里まつり（つくしの里）

期 日：10月25日（土）

内 容：今年のテーマは「見て来て知って つくしの里に全員集合！」

地域の方に感謝の意を伝え、喜んでいただける里まつりを開催します♪

☆ インフルエンザ予防接種（つくしの里）

期 日：10月30日（木）

内 容：利用者さん、職員全員で、早期予防に努めます。



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和七年八月二十一日～

令和七年九月二十日です



【寄付・寄贈】

・清田 すま子 様 ・田代 千恵子 様
・中山 香代子 様 ・藤田 孝志 様
・光永 順子 様 ・松本 良子 様
・和田 朋子 様
・(株)ニエルサプライ 様

【ボランティア】

・村里 和洋 様 ・木本 ふじ子 様
・カモメ 様 ・丸山 典子 様
・木本 ふじ子 様

誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

編集後記

サツマイモや栗の美味しいスイーツが
お店に並び始めて秋の訪れを感じます。
つくしの里の「秋」といえば「秋の里まつり！」。まつりの担当者を中心に着々と準備を進めています。今年の秋の里まつりはどんな楽しいひと時になるか、とても楽しみです。



第九回 つくしの里

秋の里まつり

焼きそば・からあげ
キッチンカーもやってくる！
そのほか
出店がいっぱい！！
子どもコーナーや
ネイル体験もあるよ！

抽選会は
毎年力を入れてます！
豪華景品も！？
乞うご期待！！

ステージでは
大津太鼓様
ちむ美らさん様
POTION様
が出演！！

利用者・職員との
交流コーナー
もあり！！
※参加賞もあり！

2025. 10/25 土
10:30～15:00
(抽選締切 13:45)

雨天決行

会場

つくしの里

大津町大字平川400

お問合せ先はこちら

☎ 096-293-1550

祭